

2024年3月29日

西鉄バス大牟田株式会社

## 路線バス(乗合バス)の上限運賃改定の申請について

2024年3月29日、当社は、九州運輸局に乗合バス運賃の上限運賃改定認可申請を行いました。

申請理由および申請概要等は以下のとおりです。日頃よりご利用のお客さまにおかれましては、何卒事情をご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

### 1. 申請理由

当社では、輸送の安全を最優先に掲げ、さまざまな施策の実施による収入確保や、アイドリングストップによる燃料費の節減をはじめとする徹底的な経費削減を図りながら、1998年8月1日実施の運賃改定<sup>\*</sup>以来約26年間、運賃を変更することなくバス事業を継続してまいりました。

しかしながら、少子高齢化やマイカー等との競合に加え、2019年に発生した新型コロナウイルス感染拡大によるテレワークの浸透など、「新しい生活様式」への移行に伴う移動需要の縮小も打撃となり、2022年度のバス利用者数は新型コロナウイルス感染拡大前の2019年度と比較して約3割減少しております。また、2023年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行したものの、利用者の回復には至らず、バス事業の維持に必要な収入の確保も厳しい状況が続いております。

一方、バス事業の運営に係る費用は年々増加傾向にあります。慢性的な運転士不足を踏まえた人財確保のための待遇改善に加え、安全投資や環境投資、燃料費の高止まり等、コスト増の要因は山積し、当社のバス事業はコロナ禍により経営状況が大幅に悪化しており、安定的かつ持続可能な公共交通ネットワークを提供し、地域の足を守るといふバス事業者の使命は揺らぎかねない状況です。

こうした環境下における事業運営の改善を図るとともに、将来にわたってバス事業の安全・安定的な継続を図るべく、今般、上限運賃の改定を申請いたしました。

※ 2014年・2019年の消費税率引き上げに伴う改定を除きます。

### 2. 申請概要

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| (1) 申請日                       | 2024年3月29日(金)              |
| (2) 実施予定日                     | 2024年10月(認可後に改めてお知らせいたします) |
| (3) 申請対象路線                    | 当社が運行する一般乗合バス路線            |
| (4) 上限運賃 <sup>※1</sup> の平均改定率 | 32.06%                     |

実施運賃<sup>※2</sup>は上限運賃より低額とする予定です。

(実際の平均改定率は22%程度の予定)

※1 上限運賃…事業経営に必要な原価に応じて算出され、バス事業者が收受できる運賃の上限額

※2 実施運賃…上限運賃の範囲内で、実際にお客さまから收受する運賃額

(5) 運賃比較表

	現行運賃	申請上限運賃	実施運賃(予定)
対キロ区間制 (初乗運賃)	160 円	220 円	210 円
初乗り区間 定期券 (通勤一か月)	7,200 円	9,900 円	9,450 円

(6) 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期旅客運賃 <sup>※3</sup> (通勤一か月)	
	現行運賃	実施運賃 (予定)	現行運賃	実施運賃 (予定)
大牟田駅～東新町	170 円	210 円	7,650 円	9,450 円
大牟田駅～有明高専	260 円	300 円	11,700 円	13,500 円
大牟田駅～南吉野	300 円	330 円	13,500 円	14,850 円
大牟田駅～グリーンランド	410 円	450 円	18,450 円	20,250 円
大牟田駅～三池中町	250 円	280 円	11,250 円	12,600 円

※3 定期旅客運賃については、基準運賃をもとに算出しております。ただし、割引率の変更は行わない予定です。

**3. 輸送人員および収支状況**

		輸送人員	収支状況
2019 年度		1,803 千人	△9 百万円
2024 年度(見込み) <sup>※4</sup>	運賃改定前	1,304 千人	△72 百万円
	運賃改定後	1,265 千人	△15 百万円

※4 2024 年度(見込み)は、上限運賃改定にあたっての推計値です。

**4. これまでの経営合理化状況および今後の取り組み**

不採算路線の再編をはじめとした経営合理化施策を実施してまいりました。

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ・不採算路線の再編         | ・nimoca 乗車ポイントサービスの廃止  |
| ・車両代替期間延長による償却費削減 | ・アイドリングストップによる燃料費節減 など |

今後も、生活様式の変化に対応した運行ダイヤの効率化や、ICT 技術を活用した業務効率化など、経営合理化に資する取り組みを進めてまいります。

## 5. 安全対策への取り組み

経費の徹底的な削減を行いながらも、バス事業の最大の使命である「安全」に対して、最新技術も導入しながら、さらなる対策を実施しております。

### 【ソフト面】

- ・発車前安全確認「3秒ルール」の徹底など基本操作の遵守
- ・ドライブレコーダーを活用した、個人の運転特性に応じた安全指導
- ・ハザードマップを活用した災害への備え強化
- ・西鉄バス研修センターにおける定期的なバス運転士への安全教育
- ・バスジャック対策訓練 ・バス横転時の脱出訓練 など

### 【ハード面】

- ・新型ドライブレコーダーの導入
- ・次世代型バスシステムの導入 など

今後も、日常的な運転士指導・教育を積極的かつ継続的に行うことで安全体質の底上げを図るとともに、最新技術を搭載した車両への更新をはじめとした安全投資も引き続き実施してまいります。

## 6. サービス向上に向けた取り組み

利用特性に応じ、割引率の高い魅力ある商品を販売してきたほか、ICT 技術を活用しさまざまなサービスの提供に努めてまいりました。

### 【商品】

- ・高齢者向け乗り放題定期券「ランドパス 65」
- ・グリーンランドフリーパス付きっぷ
- ・大牟田市内 1 日フリー乗車券 など

### 【サービス】

- ・乗継割引制度の導入 ・行先方向幕の LED 化
- ・液晶運賃モニターの導入 ・バスロケーションシステム「にしてつバスナビ」の導入
- ・交通系 IC カード「nimoca」の導入
- ・スマートフォン向けサービス「my route」を活用したシームレスなモビリティサービスの提供
- ・こども 50 円バスの実施 など

今後も、MaaS の取り組みとして、他社とも連携しながらサービスの向上を図るとともに、持続可能な公共交通ネットワークを構築してまいります。さらに、自治体や高齢者向けのサービス向上施策を検討してまいります。

## 7. 社会的課題への対応

社会的課題の解決のため、さまざまな取り組みを実施してまいりました。

### 【社会的課題】

- ・地球温暖化
- ・バス業界全体での深刻な運転士不足 など

### 【課題解決への新たな取り組み】

- ・運営体制や運行計画の抜本的な見直しによる効率化
- ・アイドリングストップの励行 など

今後も、運転士不足に対応するための人財戦略をはじめとする運営体制や運行計画などの抜本的な見直しに取り組んでまいります。

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター（Tel:050-3616-2150）まで